経営課題1 【安全と安心を未来につなぐまち】

地域団体、関係機関などと連携し、災害や犯罪・交通事故など区民の生活に影響を与えるさまざまなリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。

【主なSDGsゴール】

めざす成果及び戦略 1－1 【誰もが安心できる災害に強いまちづくりの推進】

【めざす状態】

地域住民の防災意識の向上が図られ、日ごろの備えができている状態

【中期的な取組の方向性】

区民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えに加え、コロナウイルス感染症など環境の変化に応じた避難の方法など啓発を行い、地域特性に応じた地域の自主的な防災の取組みを確実に実施できるよう支援するとともに、若年者層への意識啓発の取組みなどを着実に実施します。また、SNSの活用等新たな情報伝達手段の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

【アウトカム指標】

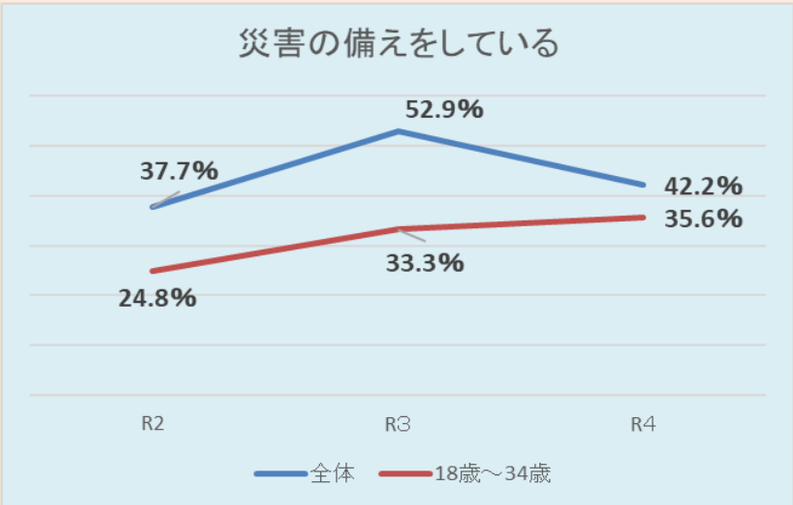
災害に備えて、日ごろの備えができていると思う区民の割合：6年度までに60%以上

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
52.9%	－	42.2%	－	50.6%	－

○：目標達成　－：目標未達成

【現状】

・「災害に備えて日ごろの備えができていると思う割合」が約半数にとどまっている。
・災害時には、新型コロナウィルス感染症対策を踏まえた避難所運営や避難方法が求められている。
・「災害時に備えて日ごろの備えができている」と感じる若年層（18歳～34歳）の割合は増加傾向にあるものの全体の率を下回っている。
・地域の防災活動は活発に行われているものの、20代までの地域住民の参加が少ない傾向にある。
・各取組みを実施することで災害に対する日ごろの備えになっていると感じる地域防災役員の割合は4年度100%であった。



【課題】

・日ごろの備えの重要性やマンション等を中心にした新たな避難方法（在宅避難等）や速やかな避難が困難な方の個別避難計画の必要性などを周知徹底していく必要があります。
・新型コロナウィルス感染症対策や女性の視点を踏まえた避難所開設や運営方法など、地域の防災力向上のために継続的に訓練や研修を積み重ねていく必要があります。
・将来の自主防災組織の新たな担い手となるべき人材の育成に向けて、終日区内にいる中学生等若年層への防災に関する知識やスキルの向上を図る取組みを充実していく必要があります。

具体的取組1－1－1 【区民の防災力向上】

我が家の防災プランnavi

あべの防災フェアパネルディスカッション（1月）

〈参考〉区政会議等意見
・マンション住人の「自分たちは大丈夫」という安心感のような意識があり、避難訓練などへの参加も少ないという点が課題である。
・当事者意識が上がらないと次の行動につながらないので粘り強く阿倍野区の取組をたくさんの世代に認知してもらうよう取り組んでほしい。

具体的取組

概要	3決算額	297,000 円	4予算額	2,495,000 円	5予算額	3,268,000 円

・区民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えに加え、新型コロナウィルス感染症など環境の変化に応じた避難の方法や災害への備えについて家族で話し合えるきっかけづくりとなるようホームページや広報紙、「我が家の防災プランnavi」などを活用して情報発信を行います。また、増加するマンションでの防災計画の必要性や在宅避難の周知、速やかな避難が困難な方の個別避難計画の作成など、地域と連携して取組を進めます。

主な取組	5年度実績	4年度実績
区のホームページや区広報紙等で周知：年2回以上	2回	2回
「我が家の防災プランnavi」の活用（全戸配付1回、イベント等での配付）	16回	1回
マンションの防災対策について啓発し、研修会や防災計画策定に向けた取組みを支援：年3回以上	4回	7回
出前講座等防災研修の実施：年5回以上	13回	12回
防災フェアの開催：年1回	1回	1回
防災週間での啓発：年1回	1回	1回

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
災害時に対する日ごろの備えについて家族で話し合っている区民の割合：6年度までに50%以上	63.0%	○	49.6%	―	54.3%	○

○：目標達成　―：目標未達成

具体的取組1－1－2 【地域の防災力向上】

避難所開設運営訓練（6月　阪南地域）

まちなか訓練（4年度　常盤地域）

〈参考〉区政会議等意見
・地域防災リーダーや避難所運営など女性の目線を取り入れた防災活動の企画をすることで的確な避難計画につながると思う。
・地域防災力を向上させていくため自主防災組織の活動を粘り強く支援する体制整備が必要ではないか

具体的取組

概要	3決算額	3,300,000 円	4予算額	2,643,000 円	5予算額	3,184,000 円

・まちなか訓練や避難所開設訓練を中心とした地域での自主防災活動の取り組みを支援します。

主な取組	5年度実績	4年度実績
まちなか訓練の支援：全10地域	10地域	9地域
防災関係会議の開催：年2回以上	2回	2回
避難所開設・運営研修・訓練を支援：全10地域	9地域	9地域
地域防災リーダー研修の実施：年1回以上	1回	1回

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
・区役所の取り組みが地域防災力向上の効果的支援となっていると感じる地域防災役員の割合：80%以上（R5年度～）					88.3%	○

○：目標達成　―：目標未達成

具体的取組１－１－３　【若年者層の防災力向上】

ジュニアリーダー訓練（7月）

中学校研修（5月　昭和中）

〈参考〉区政会議等意見
・中学生や高校生のジュニアリーダーの役割が重要であり、ジュニアリーダーの育成は共助の役割分担としてもっと意識を高めてほしい。
・ジュニアリーダーはよい制度と思うが、卒業後もつながりを続けていくためのフォローが大切である。

具体的取組

概要	3決算額	55,000 円	4予算額	30,000 円	5予算額	448,000 円
・日中の災害を想定し、中学生等の若年者層への意識啓発や防災ジュニアリーダーの育成など防災力向上の取組みを進めます。						

主な取組	5年度実績	4年度実績
区内の小・中学校研修の実施：10校以上	延べ13校	延べ12校
防災ジュニアリーダー研修の実施：年1回以上	2回	2回

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
・防災教育を受けた生徒のうち、「災害に対する日頃の備えについて、家族で話し合おう」と思った割合80%以上	93.5%	○	91.2%	○	95.6%	○

○：目標達成　－：目標未達成

戦略１－１の自己評価	改善策
課題	
日ごろの備えができていると思う割合については微増であり、目標達成には至っておらず、引き続き周知を強化していく必要があります。	能登半島地震等の状況を踏まえ、日頃の備え等について、SNSや出前講座などを通じて一層の周知を進めてまいります。

めざす成果及び戦略　１－２【みんなで犯罪や交通事故を防ぐまちづくりの推進】

【めざす状態】

区民が区内の安全性が高まったと感じられる状態

【中期的な取組の方向性】

地域や警察等関係機関と連携し、出前講座の実施や各種の広報媒体を使った啓発など、区民の安全を守る取組みを進めるとともに、時節、対象に応じた啓発を行います。

【アウトカム指標】

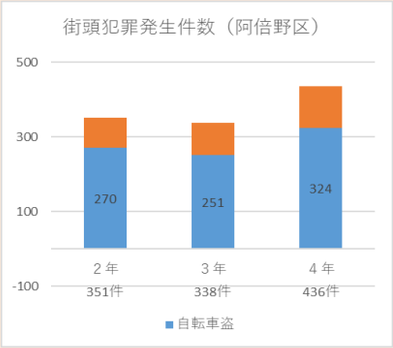
区役所が警察等と連携して行う防犯・交通安全の各種取組みを総合的にみて、街頭犯罪抑止や交通事故防止に役立っていると感じる区民の割合：6年度までに80 %以上

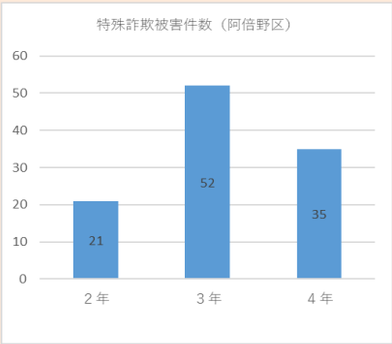
令和3年度		令和4年度		令和5年度	
56.5%	－	74.8%	－	75.2%	－

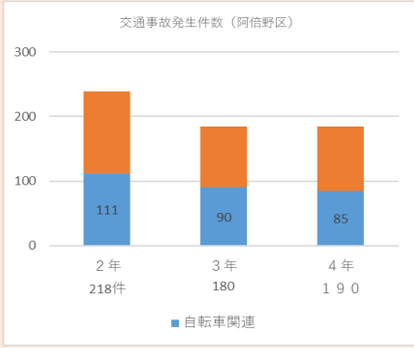
○：目標達成　　－：目標未達成

【現状】

・特殊詐欺被害については、減少傾向ではありますが、手口が多様化している状況です。
・街頭犯罪発生件数は、前年と比べ減少傾向ではありますが、自転車盗の占める割合が依然高い状況です。
・区内の交通事故発生件数のうち、自転車関連事故件数の割合は前年と比べ増加傾向です。
・区内各駅における自転車撤去台数については、前年度に比べ増加傾向です。







【課題】

・街頭犯罪や特殊詐欺事案の発生状況をふまえ、地域の防犯意識の向上が求められている。
・自転車関連事故の発生状況等をふまえ、幼少期からの正しい交通ルール・マナー遵守の啓発等を行う必要があります。
・自転車運転中のながらスマホや飲酒運転等に関する啓発を行う必要があります。
・放置自転車の減少に向け、地域とともに啓発活動等の継続的に実施する必要があります。

具体的取組１－２－１ 【防犯に関する取組み】

幼稚園での防犯紙芝居

ひったくり防止カバー取り付けキャンペーン

〈参考〉区政会議等意見
・「こども110番の家」について、登録した時点から旗も更新されず劣化している状況が見受けられる。現状の調査を行って整備してほしい。

具体的取組

概要	3決算額	1,103,000 円	4予算額	869,000 円	5予算額	955,000 円

・地域安全対策職員による地域巡回、高齢者が特殊詐欺被害にあわないための防犯出前講座、こどもが被害にあわないための紙芝居による啓発、幼稚園・保育所園外活動への同行などを行います。
・各種イベントにおいて「こども110番の家」の啓発・募集や、小学校入学説明会において啓発チラシの配布を行います。

主な取組	5年度実績	4年度実績
各地域でのひったくり防止カバーとりつけキャンペーン：10回	12回	12回
区役所職員によるひったくり防止カバーとりつけキャンペーン：12回	12回	11回
地域みまもり隊による地域住民・学校園を対象にした出前講座：10回	19回	22回
地域みまもり隊による通学路巡回・防犯パトロール：通年	通年	通年
「こども110番の家」の周知・啓発：4回	1回	1回
「こども110番の家」の名簿整備や旗等の更新	通年	通年
広報紙やSNSを活用し、時節に応じた防犯啓発の実施：通年	通年	通年

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
区役所が警察等と連携して行う防犯啓発活動等の取組みが、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じる区民の割合60%以上	60.5%	○	76.8%	○	74.5%	○

○：目標達成　－：目標未達成

具体的取組１－２－２ 【交通安全に関する取組み】

小学校での交通安全教室

幼稚園での交通安全教室

〈参考〉区政会議等意見
・自転車のながらスマホや飲酒運転等の自転車マナーについて周知徹底を行ってほしい。

具体的取組

概要	3決算額	71,000 円	4予算額	609,000 円	5予算額	723,000 円

・幼稚園児・小学生を対象とした交通安全教室、地域住民を対象とした交通安全出前講座を行います。
・ながらスマホ禁止など自転車マナー向上のため、各キャンペーンにて啓発を実施します。

主な取組	5年度実績	4年度実績
「通学路安全対策会議」の実施：2回	3回	2回
「交通事故をなくす運動」阿倍野区推進本部による推進大会の実施：春秋2回	2回	2回
阿倍野区身体障がい者団体協議会との街頭啓発活動の実施：2回	2回	－
幼稚園児等を対象とした交通安全教室の実施：12回	15回	8回
小学校児童を対象とした交通安全教室の実施：10回	9回	6回
地域住民を対象にした交通安全出前講座の実施：10回	7回	7回
「交通安全期間」等においてながらスマホ禁止などの自転車マナー向上に向けた啓発活動の実施：12回	10回	9回
広報紙やSNSを活用した啓発の実施：通年	通年	通年

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
区役所が警察等と連携して実施する交通安全教育等の取組みにより、区民の交通ルール・マナーに関する意識及び理解が向上したと感じる区民の割合60%以上	46.1%	－	70.4%	○	70.6%	○

○：目標達成　－：目標未達成

具体的取組１－２－３ 【放置自転車に関する取組み】

自転車適正化啓発の様子

放置自転車対策児童絵画壁面シート

具体的取組

概要	3決算額	39,000 円	4予算額	65,000 円	5予算額	9,056,000 円

・昭和町駅（文の里駅含む）及び西田辺駅検討委員会、ゆめまちロードOSAKAあべの、ゆめまちロードOSAKA寺田町と協働で放置自転車の減少に向けた啓発活動を実施します。

主な取組	5年度実績	4年度実績
JR寺田町駅周辺における3区合同啓発活動の実施：8回	－	－
ゆめまちロードOSAKA寺田町啓発活動の実施：2回	－	－
ゆめまちロードOSAKAあべの官民協働会議の開催及び啓発活動の実施：各2回	2回	2回
Osaka Metro昭和町駅（文の里駅含む）・西田辺駅周辺における啓発活動の実施：12回	9回	7回
Osaka Metro昭和町駅（文の里駅含む）・西田辺駅周辺自転車適正化検討委員会の開催：2回	2回	2回
広報紙やSNSを活用した啓発の実施：通年	通年	通年
天王寺・あべの橋駅自転車駐車場の増設	増設済	－

プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）	プロセス（過程）指標の達成状況					
	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
区内の駅周辺（放置自転車禁止区域内）における駐輪場の場所を知っている区民の割合80%以上	81.4%	○	85.4%	○	88.7%	○

○：目標達成　－：目標未達成

戦略１－２の自己評価	改善策
課題 防犯・交通安全の各種取組みを総合的にみて、街頭犯罪抑止や交通事故防止に役立っていると感じる区民の割合については微増であり、目標達成には至っておらず、引き続き啓発を強化していく必要があります。	電動キックボードなどによる交通事故発生の抑止に向けて、警察等と連携してより一層の啓発を実施します。 駅周辺の放置自転車解消に向けて、より一層の啓発活動を実施します。